

これからの教育環境を考えるワークショップのふりかえり

- ・平成 26 年 3 月に策定した「生野区小・中学校教育環境再編方針『学校配置の見直し』」に基づき、小中学校の配置見直しの参考とするために、子どもたちのためのよりよい教育環境を保護者や地域住民のみなさんが相互に意見交換し、新しい学校のありかたを考えていく場です。

● ワークショップ参加者

A ブロック (北鶴橋、御幸森、鶴橋、勝山、東桃谷小学校) 合計 28 名

B ブロック (林寺、生野、田島、舍利寺、生野南、西生野小学校) 合計 35 名

- ・各関係校の小中学校の児童生徒の保護者
- ・未就学児の保護者
- ・地域まちづくり協議会構成員

● 開催概要

回次	日 時	場 所	参加人数	資料
	内 容			
第 1 回	平成 27 年 2 月 18 日 (水) 見学時間：10 時～12 時頃	奈良市富雄第三小中学校	20 名	別紙 1 P. 5～
	小中一貫教育校（奈良市富雄第三小中学校）の見学			
見学 報告会	平成 27 年 3 月 4 日 (水) 時間：19 時～20 時 30 分	区役所 6 階大会議室	12 名	
	小中一貫教育校（奈良市富雄第三小中学校）施設見学 報告会			
第 2 回	A：平成 27 年 3 月 25 日 (水) B：平成 27 年 3 月 19 日 (金) 時間：19 時～20 時	区役所 502 会議室	A：9 名 B：15 名	別紙 2 P. 15～
	ワークショップ ・「校区の小中学校で行っている良いと感じること」【今】 ・「校区の小中学校にはないが良いと感じること」【これから】			
第 3 回	A：平成 27 年 5 月 27 日 (水) B：平成 27 年 5 月 29 日 (金) 時間：19 時～20 時	区役所 6 階大会議室	A：11 名 B：20 名	別紙 3 P. 21～
	ワークショップ ・「中学校のことってどれくらい知ってますか？小学校のことより知らないのはなぜ？」 ・「『学校』『地域』ができること、やってほしいこと？」			

回次	日 時	場 所	参加人数	資料
	内 容			
第 4 回	平成 27 年 7 月 8 日 (水) 時間：19 時～21 時 00 分	区役所 6 階大会議室	26 名	別紙 4 P. 25～
	学校統合の事例紹介 ～実際の学校統合を通じて（経験者の声）～			
第 5 回	平成 27 年 8 月 6 日 (木) 時間：19 時～20 時 30 分（予定）	区役所 502 会議室		
	ワークショップをふりかえって（総括）			

取組経過 平成 26 年 4 月～

区政会議・部会

・計 7 回

教育行政連絡会

・計 2 回 (28 小中学校長)

教育保育連絡会

・計 2 回
(幼稚園保育園所、小中学校等 64 施設)

住民説明会

・西側全 11 小学校 (のべ約 650 名)

出前講座

・計 2 回 (のべ約 90 名)

これからの教育環境を考えるワークショップ

- ・第 1 回：施設見学「小中一貫教育校の見学」(奈良市富雄第三小中学校) <参加者数 27 名>
・「施設見学報告会」 <参加者数 12 名>
- ・第 2 回：ワークショップ「校区の小中学校で行っている良いと感じること」【今】
<参加者数 31 名> 「校区の小中学校にはないが良いと感じること」【これから】
- ・第 3 回：ワークショップ「中学校のことってどれくらい知ってますか？小学校のことより知らないのはなぜ？」
<参加者数 39 名> 「『学校』『地域』ができること、やってほしいこと？」
- ・第 4 回：学校統合の事例紹介～実際の学校統合を通じて（経験者の声）～ <参加者数 42 名>

これまでの取組から

子どもたちには**いろいろな経験をさせることが大切**というのが、様々な意見に共通している点。
いろいろな人たちとコミュニケーションし、豊かな人間性を育むことが、これから人生を過ごし、
社会生活を営んでいく上での基礎となり重要。

子どもたちを丁寧に見守り、育んでいくためには、**幼稚園や保育園・所と小学校、小学校間、小学
校と中学校などでの子どもの交流や教員の連携が大切**だが、現状では物理的、時間的な制約も
あり難しい。

小学校については、教育コミュニティが根付き、いろんな立場の方が学校に関心を持ち、保護者
や学校だけでなく、**地域全体で子どもたちを育てていただいている状況**。

中学校においては、複数の小学校区で構成されているということもあり「地元」という意識が薄
れ、**地域と学校の関わりや交流が少なくなる傾向が大きい**。学校からの情報発信が少ない、学
校に行く機会がない、距離や就学期間の短さも影響して、**総じて「よく知らない」とう状況**。

中小学校区単位での地域対抗イベントや防災訓練の実施など、地域連携の強化や学校情報の共有な
ど、**中学校においても保護者・地域住民が学校に関心を持ち、支えていくことが大切**。

